



「笑顔で街づくりを・・・」

部長 根岸 玲子

トランプ！トランプ！と新しい年を迎えましたが、景気上昇は望めるのか？そして不況風は・・・

でも私達女性部には不況風を吹き飛ばす明るい笑顔がある！地域振興発展、組織活性化そして街づくりにと部員の皆様には大きなお力をいただき、心より感謝を申し上げます。

不況風の中でも”商工会女性部ここにあり”どんな事業に於いても大きな存在感のある組織に成長したのではないのでしょうか？

また東京都商工会女性部連合会では今年度、七月十三日十四日千葉県勝浦にて、平成二十八年年度関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催され、東京都連からは約

多
つ
く
り

題字

相田コマ顧問

女性部だより

調布市商工会女性部

〒182-0026

調布市小島町2-36-21

TEL 042-485-2214

100名参加でした。「主張発表ブロック大会」で東京代表羽村市商工会矢部久子さんが最優秀賞に選ばれました。東京都が選ばれたのは初めてです。

「女性部活動と地域振興まちづくり」もう一度花嫁」を発表。内容は六十五才以上の女性がウエディングドレスを着て、スタジオで写真撮影、もう一度花嫁になっていただくというイベント。ヘアメイクもウエディングドレスの手配も、それぞれ本職の女性部員の担当、おばあちゃんの变つていく姿を孫とつきそいの嫁が

”わあ！きれい！”

”おばあちゃんきれいだよ！”

感動と思いついた作りを手伝った様子を、豊かな表現力で語り、私達も応援しながら涙した位でした。

審査員の先生も”花嫁も周りも皆、笑顔になった様子が良く伝わった”

と高く評価されました。

十一月八・九日の福島県郡山市で開催される女性部・青年部全国組織化五十周年記念式典及び第十八回女性部全国大会福島大会に進出です。

そして全国大会当日、調布からは三名出席、震災から五年八ヶ月復興・再生を願う福島大会は素晴らしい大会でした。またその中で矢部久子さんは素晴らしい発表でした。グランプリは取れませんでした、発表された代表者、皆さんにグランプリを差上げたかったです。福島の青年部、女性部から復興・再生の力強い素晴らしい力をいただいてまいりました。

部員の皆様、調布市商工会女性部を皆ひとりひとりの力を合わせ地域活性・街づくりにご協力ください。今年度は調布駅周辺が大きく変わろうとしています。

今こそ、仙川駅から飛田給駅まで調布の街の為、手をつなぎ頑張ります！

皆さまのアイデアをどうぞ女性部に”明るい笑顔で街づくり”に一役下さい。

よろしくお願い申し上げます！



全体参加人数	1,119名
部員参加者	10名
参加団体	40団体
ごみ収集量	
可燃ごみ	0.43トン
不燃ごみ	0.35トン
粗大ごみ	0.75トン
空きビン	38本
空きかん	380本
ペットボトル	360本

多摩川クリーン作戦(春)
開催日時 平成二十八年四月十日(日)
午前八時
会場 多摩川河川敷

第三十一回通常部員 総会を開催

日時

平成二十八年四月二十五日(月)
午後 六時

会場 商工会館三階研修室

部員総数 一四二名

出席者 本人 三十一名

委任状 五十二名

計 八十三名

来賓 八名

議案

第一号議案

平成二十七年事業報告並びに

収支決算報告承認について

第二号議案

平成二十八年度事業計画並びに

収支予算決定について

以上の議案が上程され、第一号、第二号議案ともに満場一致にて可決されました。

総会終了後「中国料理 渝園」にて懇親会が行われ、来賓の皆様を含め和気あいあいとした雰囲気です新しい部員の方々と交流を深める場となりました。



共同募金

事務協力を終えて

赤い羽根共同募金運動月間の前に、私たち商工会女性部十名は、共同募金調布地区協力会への協力を通じて地域福祉の増進に寄与することを目的とし、共同募金説明会の配布資料のセット作業をしました。

八月三十一日の一時に福祉会館に集合し、女性部のエプロンをキリリと締め、さあやるぞの心意気で始めました。

作業は手慣れているベテランの私たち女性部は、心得ていますとばかりに段どりの方法をこちら側が指示

し、募金袋を束にしたり、配布資料の枚数を数えたり、手提げ袋に番号を書いたりと手際よく、さすが各お店を切り盛りしている部員の皆さんの仕事ぶりが早いこと。おみごとと言うしかありません。少し休憩しようよと声がかかるまで、脇目もふらず作業をし、休憩タイムでは、一枚二枚とこれが札束だったらしいのねえ、と冗談も言いながら三時間余り作業をしました。

社会福祉に対する理解を深めることを目的として、企画された赤い羽根共同募金とのコラボレーションでサッカーや野球大会が開催されている今日、私たちは共同募金説明会の配布資料のセット作業を通じて少しでも社会福祉のお手伝いが出来ればと思います。

終了後、「福祉について関心をもっていたことが大切です。縁の下の力持ちで大変助かっています。」と感謝のことばをいただきました。

部員のひとりが、私たちはただやっているのではなく、募金が少しでも沢山集まりますようにと祈りながら作業をしているのですよと、励みになる言葉を返してくれました。疲れがいつぱんに吹き飛んだ気持ちになりました。晴れやかな気分です福祉会館を後にしました。

加藤 みち子

献血運動に参加して

八月は献血運動の協力があると私の中では思っていました。が、いつになるとの連絡もなく問い合わせをしてみたところ、調布市商工まつりの時にやりますということで十月十日に行いました。

当日は女性部員も商工まつりの出店協力和献血運動協力の二班にわかれ、商工まつりの来場者にティッシュを配りながらのお声がけ。駅前での呼びかけよりも、反応はとても優しく感じました。

お祭り会場に行く前に立ち寄って下さる方。「お祭りの帰りに来ますね。」と言ってきてくださった方。「つ



いこの前やったばかりだよ。」とか、「年齢が過ぎていいるからやりたくても出来ないよ。」などの声もありました。

またお子さんを連れの方が献血に協力してくださるということで喜んで子守りを引き受けたり、若い人をめがけて声をかけてみたりひとりでも多くの方に協力して頂けたらという思いで呼びかけを行いました。結果申込者数六十三名、献血実施者五十六名というあたたかいお心を頂きました。

これからも輸血を必要としている方のお役に立つことができるという気持ちで献血運動に参加してまいります。

坪内 明子



商工まつり チャリティーバザー

毎年恒例となりました、商工まつり・女性部チャリティーバザーを、十月九日（日）例年の市役所前庭の会場から、たづくり北側道路内の特設会場に場所を移して開催いたしました。

当日は午前中雨の為、バザー開催が厳しい状況がございました。

このチャリティーバザーは昭和六十年女性部開設以来実施している事業として社会福祉への貢献、回収や販売という役割を多くの部員ができる範囲の中で協力することで参加意識を高め、女性部活動を地域社会



に理解してもらうことを目的に行われている事業です。

商工まつり開催前の十月五日（水）には部員三十一名が商工会館に集まり値札付けを実施。

バザー当日は午前中からの雨も、女性部の祈りが通じたのか、午後には上がり、皆様からご提供いただきましたタオル・洗剤・バック類・食器・衣類・雑貨などを、部員の皆様が一丸となって販売することができ、感謝のチャリティーバザーとなりました。

また十月二十七日（木）には柳澤会長をはじめ今回の商工まつり実行委員長である田中商業部会長と根岸部長・副部長とミス調布に選ばれた三名とともに調布市を表敬訪問し、収益金として50,080円を社会福祉基金として調布市に寄付することができました。次回も市民の皆様に喜んでもらえるように、そして社会福祉に貢献できるよう取り組んでいきたいと思えます。

皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

大場 尚子



十月九日（日）十日（祝）の二日間商工まつりに出店しました。

私は昨年の商工まつりから、商工会女性部名物の「ふみ焼き」を焼かせていただいています。

昨年は、手取り足取り教えていただいているのにも関わらず、なかなかちょうどいい大きさやカタチに焼き上げることができませんでした。

今年は、もっと早く上手に焼き上げようと頑張ってみました。去年よりはほんの少しだけ、早く焼けるようになったかなあ？！

材料も手間もうんとかかっているうえに、この美味しさ！なのに原価を無視した？！お値段！買わなきゃ損ソン！

昨年は三日間、今年は二日間、出店している間、毎日買いに来られるお客さまがいっぱいのはナットク！

今年は初日があいにくのお天気でしたが、女性部の皆さまのパワーはさすが！！雨をもものともせず、威勢のいい呼び込みと笑顔でしっかり完売！

出店会場も、調布市文化会館たづくりの横という、駅から少し離れた場所。人が心配でしたが、チャリテイバザーのほうもふみ焼きのお店もたくさんのお客さまが来られて、ホントによかったです。そんな



ステキな女性部名物の「ふみ焼き」を今年も部員の皆さまと一緒に協力して、焼いたり売ったりできて、とても楽しかったです♪ ありがとうございます。

これからは、新入部員や若い部員さんたちに、女性部に入ったら最初に覚えるのは「ふみ焼きの焼き方」ということで？！どんな体験してもらって、女性部員は全員焼くことができるようになります、商工まつり以外でも出店するチャンスがあれば、あちこちで販売することできるのでは？！などと、勝手に妄想しています。

来年はもっとたくさんの方の女性部員さんが参加してくれるといいですね！

青山 富美江

商工会青年部・女性部 全国組織化五十周年記念式 典及び第十八回商工会女性 部全国大会福島大会に参加 して

十一月八日早朝立川に集合し、大型バス2台に関東ブロック（二十四市町村）105名と事務局五名の110名が乗り込み、AM六時三十分一路福島へと出発。AM十一時頃に会場のビッグパレットふくしまに到着。すぐ会場内に誘導して頂く。去年の東京大会（NHKホール）を思い出す。今回は、組織化五十周年という節目の年という事で、女性部・青年部で5300名の出席となる。



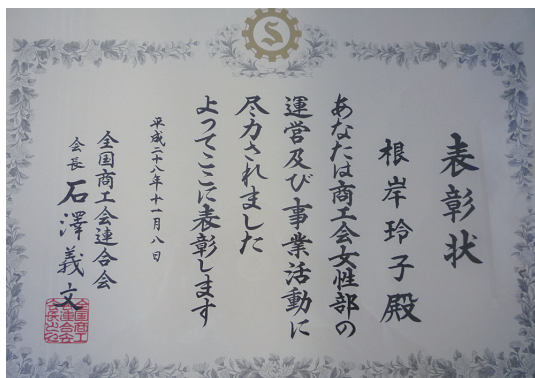


午前十一時二十分第一部オープニングセレモニーが始まる。地元高校生男女（郡山）による合唱と朗読でスタート。（曲）「ころようたえ」「夜明けから日暮れまで」「（朗読）「夜明けから日暮れまで」。きれいな歌声でとても心に響きました。続いて女性部・青年部の大会旗の入場さらに、四十七都道府県の商工会の大会旗と続く。福島県知事をはじめ来賓の方々の御祝いお言葉を頂く。未曾有の震災から五年八ヶ月となるが、復興が進む一方で未だ厳しい避難生活を余儀なくされている方々もまだまだ多い。また田畑に置かれた何万個ものプレトンバック厳しい風評被害もあり、ため息ばかり

りついても始まらない。前へ進まなければならぬとのこと。午後第二部となり、各ブロック代表による主張発表。私達関東ブロック代表は羽村市商工会矢部久子部長の「もう一度花嫁“聞く人の心をつかむ素晴らしい主張発表でした。この後青年部と続き、十八時一日目の閉会となり、女性部は会場を移動して交流会が行われた。終了後、宿泊先に再移動となる。二日目会場は初日同様ビッグパレットふくしまにて十時よりプレゼンテーションがスタート。今大会のスローガン「くふくしまVOICE



「想・創・奏 次の100年へ」被災三県の青年部・女性部が震災から五年八ヶ月過ぎた今日までの活動と現状を仲間に伝え新しい未来へと心の発信を目的とする。ないものねだりではなく、あるものさがし。ポテンシャルは隠れている。きっとそこにはないものがある！この言葉がとても印象的だった。「想」・「創」・「奏」ふるさとを想い、人を創り、未来を奏でる。友よ、本当の空へ。一日も早い復興・再生を心から願ってやみません。また、女性部の来年の全国大会地は岐阜県と決まる。大竹 勝子



根岸部長が表彰されました



平成二十八年十一月一日総合福祉センターにおいて、歳末たすけあい運動事務協力を行いました。各自治体他に配布されるチラシ募金袋を数千枚の束を十枚ずつの束にしていく事務作業で一から十まで頭の中で数を数えて分けていく単純作業ですが、ちよつと雑念が入ると数を間違えてしまうため無心で無口に作業を行いました。作業状況は前回共同募金の時と同じで、皆様ただ黙々と数を数えるため一時間ちよつとすると疲れてくる。ちよつとその時事務局の山本さんより、「休憩しましょう」の声にホツとしました。

歳末たすけあい
運動事務協力

お茶と皆さんよりの差し入れのお菓子を食べ、「単純作業も楽でないわ」等おしゃべりに体も頭もリフレッシュし、また仕事に戻りました。皆様何度も参加しているベテラン揃いで仕事早く、あつという間に割りあてられた枚数を終わることができました。部員の一人として、少しでも女性部の活動に協力できて幸いです。

またこの様なお仕事があれば少しでも協力していただきたいと思います。当日出席して協力頂いた皆様有難うございました。

河合 武子

多摩川クリーン作戦(春)

開催日時

平成二十八年十一月十三日(日)

午前八時

会場

多摩川河川敷

全体参加人数	1, 233名
部員参加者	10名
参加団体	42団体
ごみ収集量	
可燃ごみ	0.52トン
不燃ごみ	0.55トン
粗大ごみ	0.3トン
空きビン	73本
空きかん	562本
ペットボトル	1321本

新年研修会・懇親会

平成二十九年二月一日に調布クレストンホテルにて女性部新年会が開催され、私も今年初めて参加させて頂きました。

開会の挨拶に始まり、第一部で研修会、第二部で新年懇親会を行い、来賓の方々の挨拶も頂き新年の新しい幕開けとなりました。

第一部の研修会「目の前にいる身近な専門家」では、研修委員長の林さんが司会を務められ、専門家として、マナー講師や、詩吟、着物の着付けを教えられている加藤さん。働くママ達の何でもお助けされることを仕事にされている青山さんがパネラーとして質疑応答に答えられるか



たちで行われました。

この研修会では、参加された方々それぞれが、それぞれの視点で聞かれたと思いますが、私が大きく学んだのは二点ありました。

一つは、加藤さんのお話で、マナーというのはあつてないようなものということでした。私も含めてですが、現代の社会でどれくらいの方が本来のマナーというものを知っているかと気づかされました。相手への敬意を払う為にマナー礼儀というもののは大切ですが、世代が交代していくにつれて、その意味も薄れ、そして流動的なものになるんじゃないかと学びました。とは言っても最低限のマナーというものはしっかり学ばなければなど感じ良い勉強となりました。



もう一つは、青山さんのこのお仕事を始められたきっかけです。

お子さんができ、なかなか子育てしながら、お勤めは難しい。なんとかならないかと思い、保育園のママ達に声をかけ、手芸が苦手な方達の代行を始め、それを仕事として確立し、一八年以上もビジネスとして立てているということでした。

今は世帯内収入でないと厳しい時代です。なかなか甘くはないけれど、どうにか空いた時間で仕事をしたという方がいたら、本当に良いヒントになるお話だと思います。

この研修会から、先輩方がどのようにして、お仕事をされてきたか、また新しい働き方を考えるヒントを頂きました。

第二部新年会は美味しいお料理にお酒に場も盛り上がりながら、皆様との情報交換や、先輩方のお話は、色々と勉強になり参加して良かったと思いました。

商工会の行事に参加させて頂くことで、調布市で活躍されている異業種の方々から学ぶことも多く、今年是他の行事にも積極的に参加していきたいなど感じられる時間となりました。

参加させて頂きありがとうございました。

小室 博美

日帰り研修会

三寒四温で春の訪れを感じながら晴天に恵まれた三月九日は、正に研修日和となりました。

研修委員会では、当初は迎賓館での研修を考えておりましたが予約が中々取れず、身近にいる人・施設を見直そうと今回の行程になりました。

以前から部員の薦めもあり、調布市内にある「JAXA調布宇宙センター」近隣の三鷹市にある「国立天文台」と小金井市にある「江戸東京たてももの園」を研修する事に致しま



した。

経路は、調布を中心に時計回りで巡り参加した部員からは「身近にあつて行つたことがない所」との声もありました。

国立天文台では案内係の方の興味深い説明を受けながら「空ガール」になった気分を味わいました。何十年前より存在は知っていても、実際施設の中に入つて見る・聴く・触れるでは大違い、ことわざにある「百分は一見に如かず」自然の豊かさや、日本の英知と技術力と研究心により天体の事から、今の私たちの生活の豊かさに通ずる事を改めて学ぶことが出来ました。

滞在時間をオーバーしながら、次の施設に行く前に部員お勧めの女性好みの食事処での昼食のひとは至福の時間になりました。ゆったりとした気分での「江戸東京たてももの園」は、誰もが知っている小金井公園内にありました。公園は何度か利用しても「江戸東京たてももの園」は初めてづくしでした。

ボランティアガイドの案内を受け行動するグループと個々に見学するグループに分かれ、思い思いに建物を通してその時代にタイムスリップした様でした。特に2・26事件の建物が移築されていたことにビックリしつつ、多くの部員が建物の中に

入り見学していたのが印象的です。ゆったり散策しつつ、茶房やカフェテラスで「歴女」の気分を満喫しつつ：集合時間になり、研修最後の施設「JAXA調布宇宙センター」は、以前より何度も研修候補にあがりながら今回女性部として初めて何うことができ、ニュースでしか聞かない未来の事を身近に感じる機会となりました。施設内の目の前に手に触られる距離にYS11航空機の機体が置かれ、圧巻でした。

そして案内係の方に誘導されセンタ一内の一室で施設の説明（ビデオ上映）を受けた後、二班に分かれ操縦席を見学をしたり未来の宇宙への操縦体験を代表して二名、計四名が



体験する事が出来ました。体験させて頂いた感想としては、操縦桿を握ると肩に押し掛かる責任を感じました。往復六分程度でしたが、終えてみると冷や汗をかくような重圧を感じ、宇宙飛行士の凄さを感じました。参加された会員からは、「一度はここに行つてみたかったの」「楽しそうな行程だから参加した」との声もいただき、無事楽しく研修できたことは日頃からの女性部活動の行いの良さによるものと実感いたしました。

2020年度のオリンピック年に向け、女性部はこれから益々地元を身近に感じ、活力ある地域づくりをし、商工業と自身の家業発展の為に大いに力を合わせて頑張つて参りましょう。

林 清子

調布探訪 第二十弾

京王閣ガールズ競輪視察



女性部広報委員会では、今年度の調布探訪として、「京王閣ロイヤルルームにてガールズ競輪」を視察しました。

調布市役所の田口次長に紹介していただき、七月四日（月）午後二時四十五分に京王多摩川の駅にて集合し、柳澤商工会長と、根岸女性部長以下十四名の皆様と事務局の山本さんとともに、さてロイヤルルームへ・・・

とても広くて、競走路が一目で見渡せる大部屋で、根岸女性部長挨拶、柳澤商工会長挨拶、東京都十一市競輪事業組合、長岡事務局長挨拶、それから同じく、湯沢次長より京王閣の施設説明がありました。

根岸部長が、競輪は男性のイメージが強いけど、女性がやっているなんて驚きです！・・・とおっしゃっ

ていたのが印象に残っています。

京王閣競輪場は、メインスタンド、バックスタンド、食堂等、多目的プラザもあり、競走路は400m、夜になると、とても競走路が綺麗です。

収容人員は四万三千人ですが、月曜日の昼間でパラパラとまばらに見えても、三千人は入場しているそうです。

ガールズ競輪とは、二十一世紀に入り、ロンドン五輪で女子の競輪が正式種目になり、二〇一二年七月、プロスポーツとしてのガールズ競輪が始まったそうです。

私は今まで二、三回来たことはあ



りましたが、ガールズ競輪はじめてで、楽しみにしてきました。それに、いつも、夕方からだったのが

最初の②、③レースから観るのは初めてでした。競輪新聞を見ながら、悩んで投票をし始めました。競輪は馬券ではなく、車券です。

投票窓口は発売も払い戻しも、自動機なので、はじめての方は聞きながら投票していました。

交代で、選手管理棟に案内していただきました。選手は、試合1週間前に合宿所に入り、皆、二、三日前は外出できないそうです。

まじかに、女性選手を見ると、可愛いお嬢さん方なのに、その体格の良いこと・・・驚きました！

また、自転車はとても車輪が細く、コースも急で倒れたらひどく怪我をしそうです。

いつも、上からしか見られなかったのが、今にも出車する様子を見られて、迫力があり、感動しました。さて、本日ガールズ競輪は全コースのうち、⑤レースと⑩レースです。男性よりも一層、カラフルなユニフォームで、スタート！

⑤レースでは、東京都福生市の、板根茜弥ちゃんがスピードに定評あり、やはり早かったです。

⑩レースは決勝戦で、東京都町田市の三期生高木真備ちゃんがとにか

く、強いとのこと・・・やはり、二場所連続、完全優勝を達成！

私は、車券はおしくも当たらなかったけど、当たった方はいくらぐらいだったのでしょうか・・・

美味しい食事やお酒をいただきながら、レースを観ながら、とても楽しいひとときでした。

北川 由紀子



編集後記

一年間おかげさまをもちまして、第三十二号たづくりを完成することができました

これからも皆様のご意見、ご感想をよろしく願っています。

広報部一同